

かすみそう Kasumi sou



令和5年11月24日
第2学年便り第28号
江戸川区立
松江第五中学校

この学年通信の名前は1組の磯川さんが考えてくれた「kasumi sou」と名付けました。カスミソウの花言葉は夢心地。小さい花で、1輪でも20輪でも100輪でも、時には他の花を輝かせる事もできる美しい花。白色は清らかな心。ピンクは感激。黄色は希望、明るい、元気。この学年が夢のように心地よく、また、個人でも、学年全体でも活躍し、輝けるような学年になるような名前に・・・という思いが込められています。



来週の予定  定期考査が返却されているさなか、見かける風景には、テストの点数が何点だったとの会話が聞こえる廊下(*^*)v

日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
27	月	50分授業×6 ①学活(チャレドリ 班会議① 電話連絡指導【ロールプレイ】ワークシートP5)	白衣
28	火	50分授業×6 素点確認(朝読書時) 音楽鑑賞教室PM(給食早出し)	期末考査答案
29	水	50分授業×5 ⑤道徳(テスト個表配布→12月4日回収〆切) 校内研修 掃除なし引率下校 部活動再登校16時	
30	木	50分授業×6 牛乳パック回収	
1	金	50分授業×6 ⑥総合(チャレドリ 履歴書作成①【下書き】)	白衣持ち帰り

※ 来週の月曜日にはチャレドリ班会議1回目が開かれます。同じ事業所の人と集まるのは初めてです。同じ職場で1週間近く過ごすわけですから、連携をとって準備に取り組んでくださいね。

※ 29日の朝読書時に期末考査の素点確認をします。もう慣れたものとは思いますが、期末考査の答案を忘れずに持参するようにしてください。

音楽鑑賞教室があります♪

来週に詳しいお知らせが配布されますが、11月28日(火)に江戸川区総合文化センター大ホールにて音楽鑑賞教室が行われます。これは江戸川区教育委員会・中学校教育研究会が主催となり、区内中学2年生を対象に、東京都交響楽団、通称【都響】の皆さんの演奏を聴く催しです。なんと指揮をとるのは本校の卒業生でもある船橋洋介さんです。松江第五中学校は午後からの部を鑑賞しますので、少し早めに給食を食べてバスで会場に向かいます。先日の文化祭では、吹奏楽部のみんなが素晴らしい演奏で盛り上げてくれましたが、本格的なオーケストラの演奏は違った感動があるはず。当日演奏されるプログラムは下記に記載しましたが、みんなもよく知っている曲があるはず。本格的なホールでオーケストラの演奏を聴く機会は貴重だと思いますので、1時間という限られた時間ですが、大切にしてほしいと思います♪



pixta.jp - 7823641

～プログラム～

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1, すぎやまこういち | 「ドラゴンクエストV 序曲のマーチ」 |
| 2, 楽器紹介 | 「セクションごとのアンサンブル」 |
| 3, プラムス | 「ハンガリー舞曲第5番」 |
| 4, ベートーヴェン | 交響曲第5番「運命」第1楽章 |
| 5, グリーグ | 「ペールギュント」より〈朝〉、〈山の魔王の宮殿にて〉 |
| 6, スメタナ | 交響詩「我が祖国」より〈ブルタバ〉 |

※ 多くの学校がホールに集まります。できるだけマスクの着用をしましょう!!

裏面に続く

学年主任のつぶやき

先日Yahoo!ニュースを見ていると、Uさんの記事を見つけた。興味深いものだったので、ここで紹介させて貰えればと思う。(以下 Yahoo!ニュース抜粋)

俳優のU、H、Kが22日、都内で行われた映画(12月1日公開)の公開直前ティーチイベントに参加した。

ティーチインでは、試写を鑑賞した観客からの質問を募った。「世の中、情報を流すことは簡単で、ありもしない情報が拡散され、差別や偏見が生まれてしまうことがあります。それは、情報を出した人も、拡散した人も、それに対して差別や偏見を持った人も無意識に加害者になっていると思います。被害者も加害者も出さずに縫合被害や差別や偏見をなくするために必要なことは何だと思いますか」という質問が寄せられた。

Uは「だいたい、ツイッターとかで変なことを書き込む人って…。普通、人としてネガティブなことを思っても口に出さないじゃないですか。それ書いたのって残るし。で、それをたくさんの人が目撃するわけじゃないですか、それはもうその人はそういうことで、そうやって^{あがく}足掻くことでしか、世の中に自分の存在価値を見出せてない。人様に見て頂いていることでエネルギーを得て生きている人なんだと思うんですね。精神的に」と分析。「だから、それはそれとして問題なんですけど、そういうアカウントをたどると、すごくネガティブなことばかり書いていたりする。だから、いろいろ大変なことがあると思うんだけど、そこで言っても結局解決にはならない」とぼささり切り捨てた。

続けて、「逆に一人ひとりの気持ちと行動がこの世界を作っている。自分自身もそのうちの一人。でも、ネガティブなこととか、怒りとか、人を傷つけるようなことから何も生まれませんし、そこに力を使うなら、何か1個行動に移して。誰かを痛めつけるとか、そういうことじゃなくて」と呼びかける。「この世の中を過ごしやすいようにどうしたらいいんだろうとか、自分自身にだったりとか、優しくなりたいなって思いますね」としみじみ口にしてた。

Hは「今こうやって立って話してますけど、そんなにアドバイスできる立場じゃないと思ってますしなんなら『もうわかりません』って言いたいぐらいなんですけど…」と前置きしながらも、「もし自分が嫌な気持ちにさせられることが知らない人によってあった時は、絶対に負けないでいたいな」と断言。「自分はそれをしていないし、誰かを攻撃したり、傷つけたりするよりも、常に周りの人、誰かの幸せを願って生きている方が絶対いい人生を過ごせるって自分に言い聞かせて。そういうことをしてしまうと、絶対自分の価値をどんどん下げていくと考えるようにして。この人よりは絶対、俺の方が幸せだって思うようにして保ってます」と言葉を慎重に選びながら語っていた。

数少ない自分の所有するマンガ本に「N」がある。なんでこの漫画を買ったのか全然覚えがないのだけど、主人公の天然ボケが面白い漫画で、ドラマ化された際には主人公をUさんが演じていた記憶がある。いろいろな役を演じる方で、好きな俳優さんの一人なので何の気なしに読んだ記事だったが、みんなにも紹介したくて掲載させてもらいました。^{いわれ}謂れのない誹謗中傷や勘違い、思い込みの発言が人を傷つけることは容易に想像できると思う。今の時代はSNSの力で、目の前にいる人だけではない、不特定多数の人へメッセージや写真が拡散されてしまう。本人には悪気がなかったとしても、対象となる相手にとってはダメージが大きい場合も少なくない。実際、友人間のトラブルを考えると、SNS上の言った言わないが絡むことが中学校現場では少なくない。最近はそういったトラブルで話を聞く機会がないことは安心している。前述したUさんの言っている通り、そういったことでしか、自分の存在価値を見出せない人にはなってもらいたくないし、そんなことにエネルギーを使うなら、他のことに行動を移した方がよほど建設的だろう。Hさんが言っている通り、自分に対する攻撃には絶対に負けたくないし、常に周りの人の幸せを願って生きている方がいい人生を送れると思う。因果応報。人に対して行った悪事はきっと自分に返ってくる。勿論、人に対する優しさもきっと自分に返ってくるもの。この記事を読んで、みんなにも読んでほしいなと思って紹介しました。